【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年6月6日(2025.6.6)

【国際公開番号】WO2024/070153
【出願番号】特願2024-549778(P2024-549778)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ 21/62(2013.01)
Ｈ０４Ｌ 9/32(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ 21/62 ３４５
Ｈ０４Ｌ 9/32 ２００Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月21日(2025.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プロセッサを備え、
プロセッサは、
ブロックチェーンネットワークを構成する装置間において、伝達するログデータを取得し、
前記ログデータの文字列を判別し、
事前設定において目印に設定した特定文字に基づく前記ログデータの文字列と、意味のある文字列を判別する辞書機能に基づいて判別できなかった前記ログデータの文字列とを、センシティブ情報として検出し、
前記センシティブ情報の文字列を、異なる文字もしくは記号へ変換する変換処理を行う機密情報処理装置。
【請求項２】
前記プロセッサは、
前記ログデータにおいて、前記特定文字を含む文字列を前記センシティブ情報として検出する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項３】
前記プロセッサは、
前記ログデータにおいて、前後を前記特定文字または前記特定文字を含む文字列に挟まれた文字列を前記センシティブ情報として検出する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項４】
前記プロセッサは、
前記ログデータの文字列の判別に辞書機能を使用し、
前記辞書機能に基づいて判別できなかった文字列で前後を挟まれた文字列を、前記センシティブ情報として検出する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項５】
前記プロセッサは、
前記センシティブ情報の種類に応じて、前記変換処理による変換後の文字列を決定する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項６】

前記プロセッサは、
前記事前設定において、前記特定文字をリスト化したルール、前記センシティブ情報の種類を分類するルール、及び変換範囲を決定するルールを、前記変換処理に適用する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項７】
前記プロセッサは、
前記事前設定において、過去の前記センシティブ情報に対する前記変換処理の統計データを、前記変換処理に適用する請求項６記載の機密情報処理装置。
【請求項８】
前記プロセッサは、
変換処理済みログデータを、前記ブロックチェーンネットワークを構成する別装置に送信し、
前記変換処理済みログデータの解析結果を有するフィードバックデータを、前記別装置から取得する請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項９】
前記プロセッサは、
前記事前設定において、前記解析結果に基づいて前記センシティブ情報の検出対象の更新を受け付ける請求項８記載の機密情報処理装置。
【請求項１０】
前記プロセッサは、
前記ブロックチェーンネットワークを構成する別装置によるコマンド操作に応じて、前記ログデータの１行ごとに前記変換処理及び伝達を行う請求項１記載の機密情報処理装置。
【請求項１１】
前記プロセッサは、
前記コマンド操作に応じて前記変換処理を行う場合、前記別装置による前記センシティブ情報の取得操作を含む禁止操作を決定する請求項１０記載の機密情報処理装置。
【請求項１２】
前記禁止操作は、前記ログデータの文字列の編集及び削除に加え、システムメンテナンスに関係のないディレクトリに対する閲覧、作成、編集、及び削除操作のいずれかを含む請求項１１記載の機密情報処理装置。
【請求項１３】
請求項１ないし１２いずれか１項記載の機密情報処理装置を有するデータ送受信システム。
【請求項１４】
ブロックチェーンネットワークを構成する装置間において、伝達するログデータを取得するステップと、
前記ログデータの文字列を判別するステップと、
事前設定において目印に設定した特定文字に基づく前記ログデータの文字列と、意味のある文字列を判別する辞書機能に基づいて判別できなかった前記ログデータの文字列とを、センシティブ情報として検出するステップと、
前記センシティブ情報の文字列を、異なる文字もしくは記号へ変換する変換処理を行うステップと、を有する機密情報処理装置の作動方法。